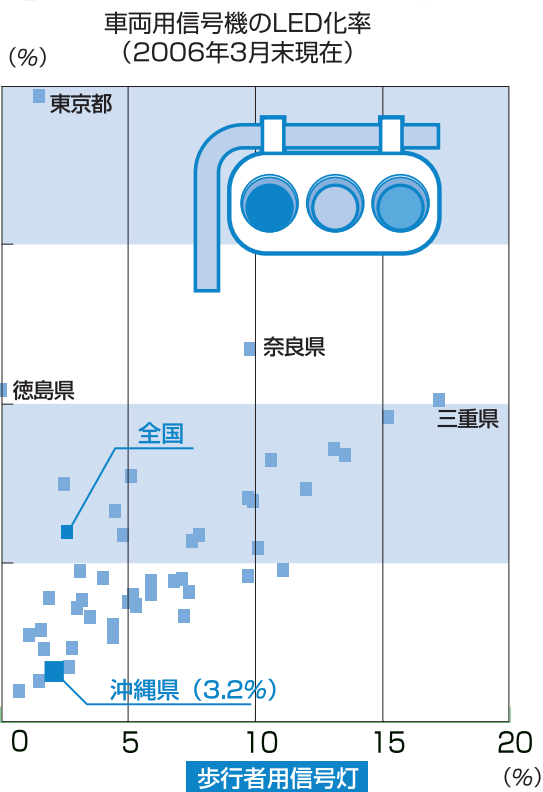


【信号機のLED化率】



3.2%

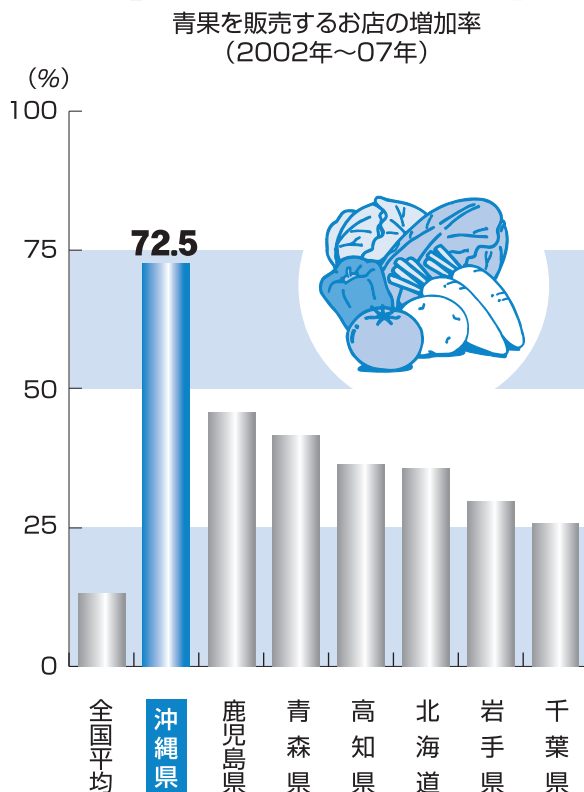
最近、全国で信号機のLED化が進んでいるようだ。LEDとは発光ダイオードの略称で、液晶テレビや屋外看板など様々な用途で使われることが多くなった。

警察庁の資料によれば、沖縄県内の車両用信号機は2006年3月末現在で9,540灯。そのうちLED式は308灯で、車両用信号機の総数に占める割合は3.2%となる。これは全国で3番目に低い水準だ。歩行者用信号灯器のLED化率は2.1%で、こちらも全国平均よりも低い。沖縄は道路1キロあたりの信号機数が多いことも普及が遅れている要因の一つだろう。

LED信号機は消費電力が抑えられるため省エネ効果が高い。また、強い西日などを受けても信号の判別がしやすいのが特徴だ。LED信号の普及は事故の未然防止にもつながるはず。でもその前に、日頃から安全運転を心がけたいものだ。

(海邦総研経営企画部／新崎雅也)

【青果販売店増加率】



72.5%

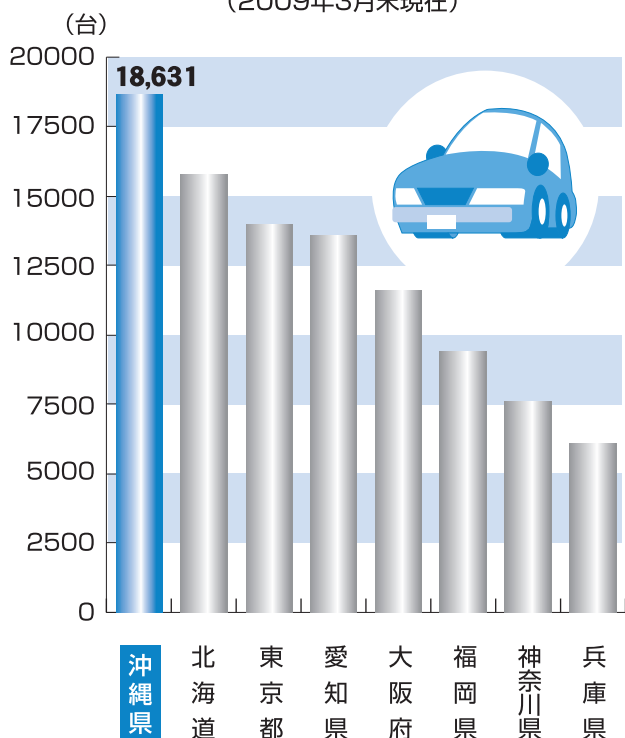
あれ!こんなところに八百屋さん。最近、そう感じたことが数回あった。経済産業省「2007年商業統計調査」によると、野菜や果物を販売する店の増加率は、この5年で72.5%と全国一。特に果物の販売店は400先増えている。なお、この数字は青果店の増加だけではなく、量販店や土産品店での取扱いも含む数だ。また、道の駅やファーマーズマーケットなど農産物直売所が増加したことも大きな要因だろう。

全国では農作物直売所がコンビニ最大手の店舗数を上回り、農作物の5%は直売所ルートといわれる。地産地消の推進により、直売所が増えているが、消費者の安全・安心志向の影響も大きい。農作物のパッケージに生産者の名前や顔写真を載せることはすでに当たり前。野菜や果物が新鮮で安い直売所。今日はこれから出かけてみては!

(海邦総研事業支援部／金城智裕)

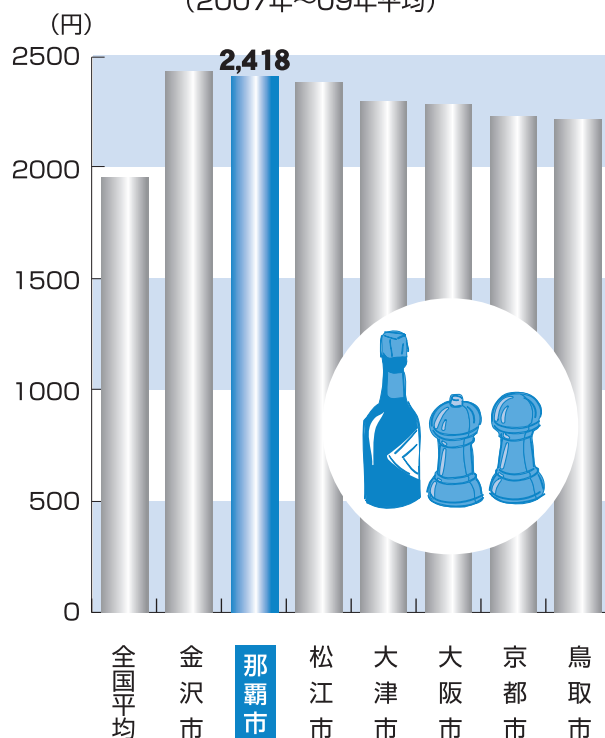
【レンタカー車両数】

レンタカー車両数(乗用車)
(2009年3月末現在)



【風味調味料の年間購入額】

風味調味料の年間購入額
(2007年~09年平均)



1万8,631台

沖縄を訪れる観光客の6割がレンタカーを利用しているといわれている。県内の交通事業を考えると自然と自動車の利用が多くなるのだろう。

国土交通省「運輸支局別レンタカー事業者数・車両数」によると、県内のレンタカー車両数(乗用車)は1万8,631台。北海道や東京都をおさえ、全国1位の水準となっている。

レンタカー業界でも環境への配慮が重要視されているようで、電気自動車の導入が進められている。既に離島でも導入されており、今後もさらなる増車が見込まれている。

自動車の多い沖縄、いつまでも空気の綺麗な沖縄で、快適なドライブを楽しみたいのは観光客も県民も同じ想い。ハイブリッドカーや電気自動車とはいかないまでも、エコドライブなど環境に配慮した運転を心がけたいものだ。

(海邦総研経営企画部/新里治史)

2,418円

チャンルー作りや沖縄そばのだし汁とりなどアジクター好きに欠かせないのが風味調味料だ。さまざまな沖縄料理にも使われ味を引き立ててくれる。沖縄県における風味調味料の購入額は高いようだ。

総務省の「家計調査(2007~09年平均)」によると、那覇市の1世帯あたり風味調味料の年間購入額は2,418円(2人以上の世帯)。全国の県庁所在地のなかでは金沢市に次いで2番目に多い額である。

風味調味料とは、調味料(アミノ酸等)に風味原料として糖類、食塩のほか、かつお節を10%以上使用している製品のこと。いわゆる「だしの素」だ。うす味を好む人も多いが、汗をいっぱいかく暑い沖縄では、体力を保つため、味の濃い料理が好まれているのかも？

(海邦総研人材開発部/喜納健)